



超高性能型

# UHFアンテナ (家庭用)

ULTRA-SUPER UHF ANTENNAS

UHF ch.13~62

**LS14** (14エレメント)



**LS20** (20エレメント)



**LS30** (30エレメント)



UHF ch.13~44

**LSL30** (30エレメント)

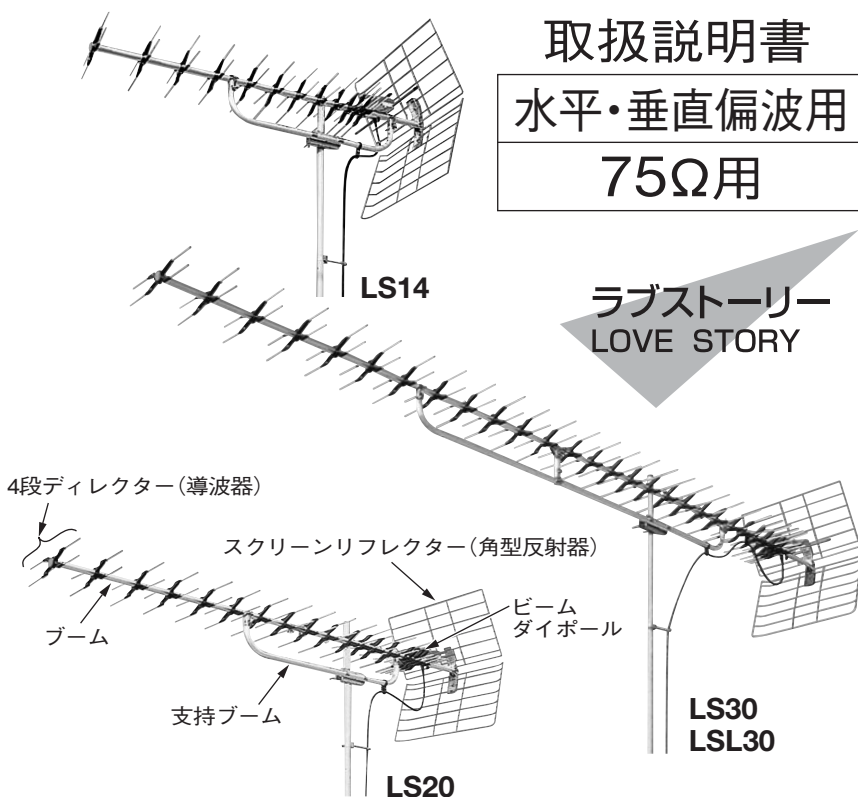


取扱説明書

水平・垂直偏波用

75Ω用

ラブストーリー  
LOVE STORY



MAStEr of PROduction  
生産の覇者

## 大型スクリーンリフレクター(角型反射器)

大型スクリーンリフレクターによって、前後比が優れていますから、後方からの反射波による妨害を軽減して、きれいな画像を見ることができます。

## ビームダイポール

フェイズシフター(位相器)を内蔵したマスプロ独自のビームダイポールは、広帯域にわたって、利得、VSWRが優れています。

## 4段ディレクター(導波器)

1つのホルダーに4本のエレメントを装備した高性能ディレクター(導波器)を採用していますから、高利得です。

## アルミ製二重ブーム

アルミ製のブームと支持ブームによる、二重ブーム構造となっていますから、軽量で丈夫です。

DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、(社)電子情報技術産業協会にて審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

## ⚠️ 注意

アンテナを高所や屋根に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず購入店にご相談ください。

### アンテナ取付作業 安全上のご注意

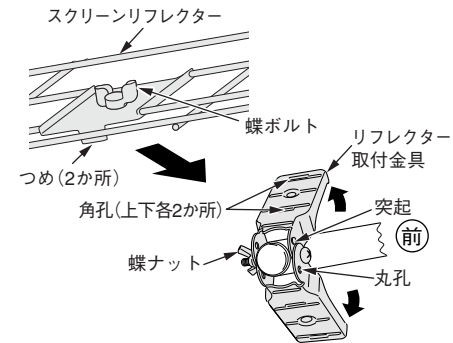
- 雷が鳴出したら、アンテナ・75Ωケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
- アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- 感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた(万一、倒れても電線に触れない)場所に設置してください。
- 雨降り・強風など、天候の悪い日の取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから、注意してください。
- アンテナ取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具をヒモで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。
- アンテナの取付け・支線張りなどの作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
- テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行ってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
- アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがや建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。

# 組立方法

- ブームと各エレメントの水平・垂直をよく確かめて、すべての蝶ナット・蝶ボルトをしっかりと締付けてください。
- ビームダイポールの75Ωケーブルの取出し口が上を向かないように取付けてください。

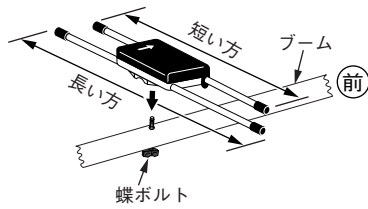
水平偏波を受信する場合 垂直偏波を受信する場合、p.3「垂直偏波を受信する場合」をご覧ください。

## スクリーンリフレクター



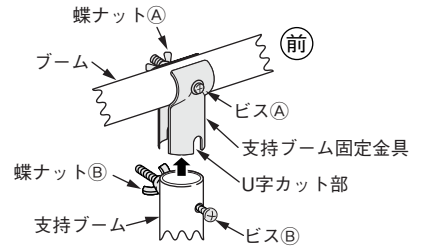
- ① リフレクター取付金具の突起が丸孔に入るまで広げます。
- ② リフレクター取付金具の蝶ナットをしっかりと締付けてください。  
●締付トルク 4N・m(41kgf・cm)
- ③ スクリーンリフレクターのつめをリフレクター取付金具の角孔に差込んで、蝶ボルトをしっかりと締付けてください。  
(上下のスクリーンリフレクターを取付けます。  
●締付トルク 1.5N・m(16kgf・cm)

## ビームダイポール

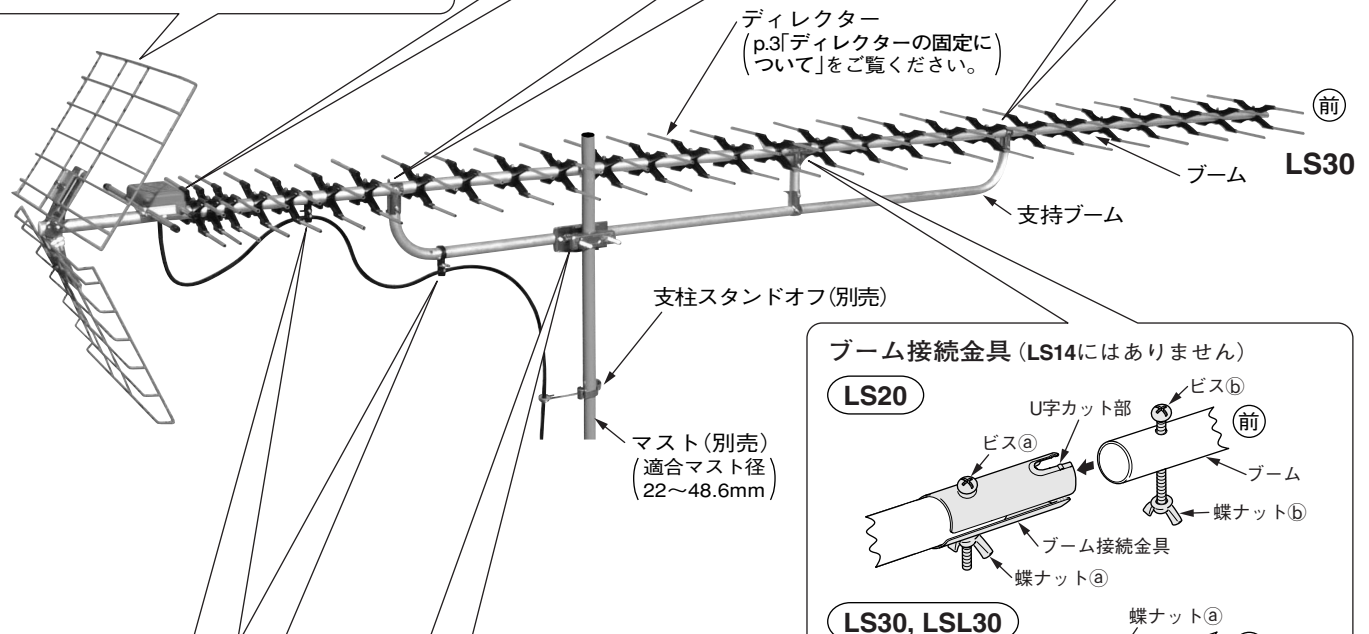


ダイポールの短いエレメント側を(前)方向に向けて取付けてから、蝶ボルトをしっかりと締付けてください。  
●締付トルク 1.3N・m(14kgf・cm)

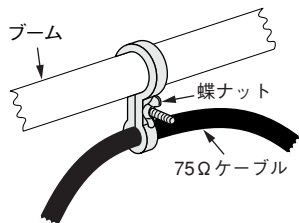
## 支持ブーム固定金具



- ① 支持ブーム固定金具を固定している蝶ナット(A)をゆるめます。
- ② 支持ブームに付いている蝶ナット(B)をゆるめ、ビス(B)の頭を引き出します。
- ③ 支持ブーム固定金具のU字カット部にビス(B)を挿入します。
- ④ 蝶ナット(A)・(B)をしっかりと締付けてください。  
●締付トルク 2.5N・m(26kgf・cm)

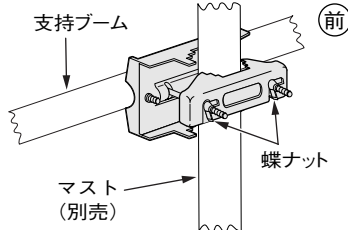


## ケーブルストッパー



蝶ナットをゆるめ、75Ωケーブルを取付けてから、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

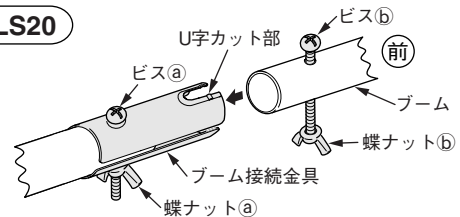
## マスト固定金具



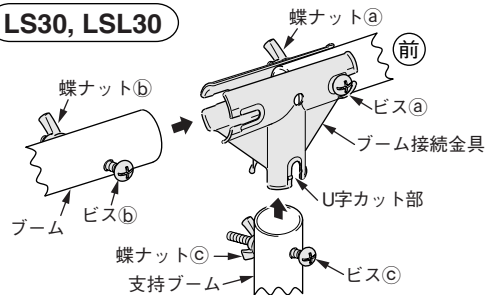
蝶ナットをゆるめ、マストを通してから、蝶ナットを均等にしっかりと締付けてください。  
●締付トルク 7N・m(72kgf・cm)

## ブーム接続金具 (LS14にはありません)

LS20



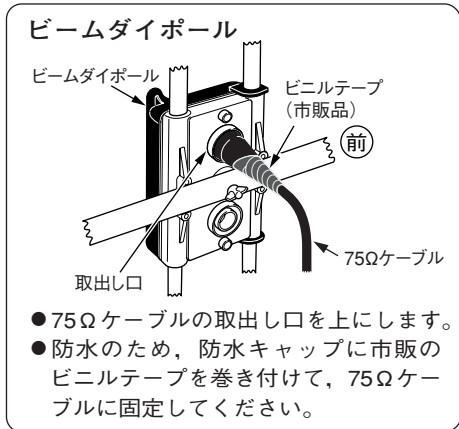
LS30, LSL30



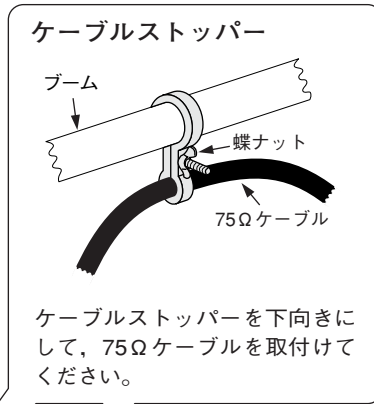
- ① ブーム接続金具を固定している蝶ナット(a)をゆるめます。
- ② ブームに付いている蝶ナット(b)と、支持ブームに付いている蝶ナット(c)をゆるめ、ビス(b)・(c)の頭を引出します。  
(LS20には、蝶ナット(c)とビス(c)はありません。)
- ③ ブーム接続金具のU字カット部にビス(b)・(c)を、それぞれ図のように挿入します。
- ④ 蝶ナット(a)・(b)・(c)をしっかりと締付けてください。  
●締付トルク 2.5N・m(26kgf・cm)

## 垂直偏波を受信する場合

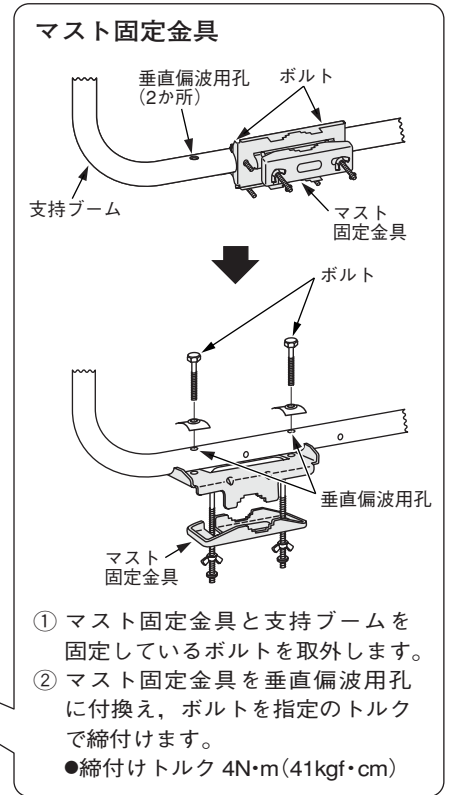
マスト固定金具以外の組立方法は、p.2「水平偏波を受信する場合」をご覧ください。



- 75Ωケーブルの取出口を上にします。
- 防水のため、防水キャップに市販のビニルテープを巻き付けて、75Ωケーブルに固定してください。



ケーブルストッパーを下向きにして、75Ωケーブルを取付けてください。



- ① マスト固定金具と支持ブームを固定しているボルトを取外します。
  - ② マスト固定金具を垂直偏波用孔に付換え、ボルトを指定のトルクで締付けます。
- 締付けトルク 4N・m (41kgf・cm)

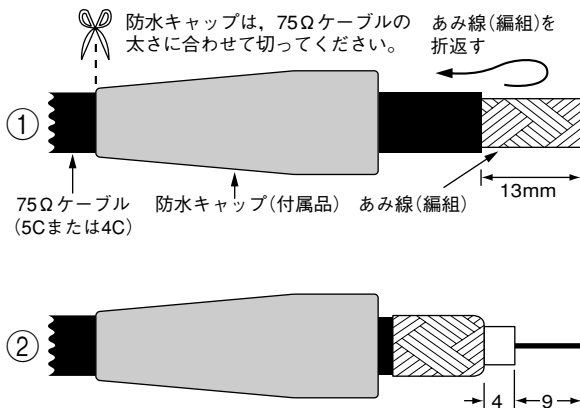
## ケーブルの接続方法

75Ωケーブルを付属の防水キャップに通してから、加工してください。(防水キャップは、ビームダイポールに収納されています)

### ケーブルの加工

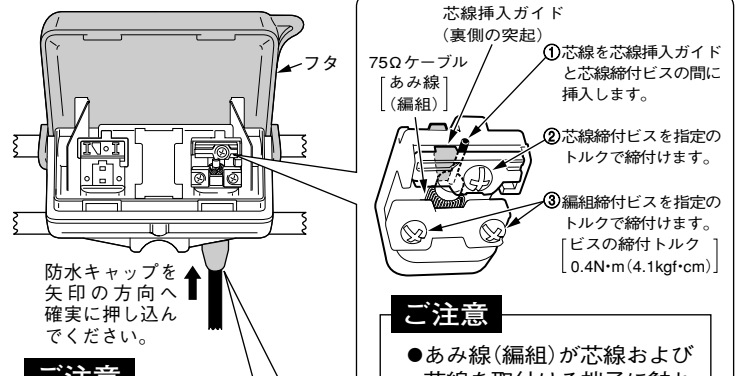
75Ωケーブルは、5Cまたは4Cをお使いください。

(加工寸法は原寸大です)



### ビームダイポールへの接続

- ① ダイポールのフタを開けて、75Ωケーブルを接続します。
- ② 75Ωケーブルの接続後、ダイポールのフタをパチンと音がするまで、しっかりと閉めてください。



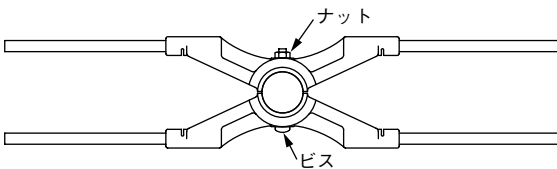
### ご注意

水平偏波受信の場合、防水キャップにビニルテープを巻付けて、75Ωケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

### ご注意

- あみ線(編組)が芯線および芯線を取付ける端子に触れないようにしてください。
- アルミ箔がついている75Ωケーブルを使用する場合、アルミ箔が、芯線および芯線を取付ける端子に触れないようにしてください。

## ディレクターの固定について



ディレクターを固定しているビスを直接締付けたり、ゆるめたりしないでください。特殊なビスのため、ディレクターが破損、脱落の原因となります。

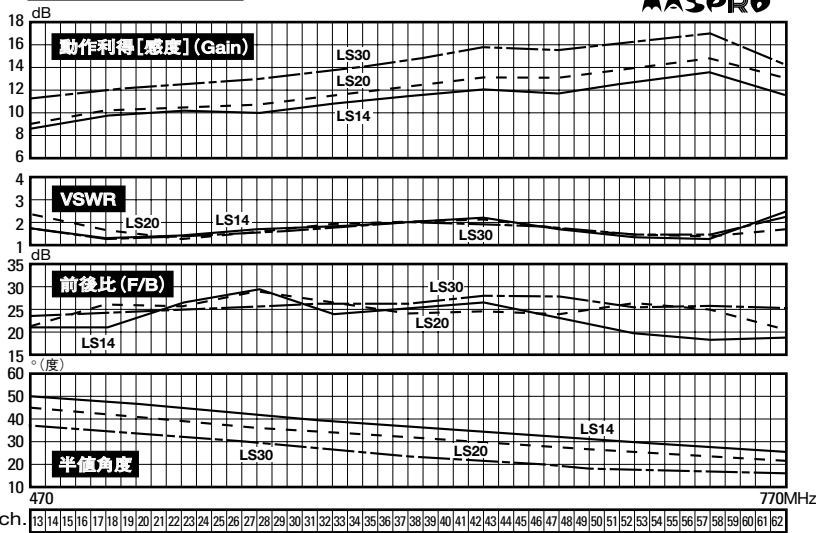
## アンテナの方向調整

- ① アンテナを左右に回転して、電波到来方向に、アンテナの方向を合わせてください。
- ② 地上デジタルチューナーやデジタルテレビの「アンテナ設定」画面に表示される「アンテナレベル」の値が最大になる方向で、アンテナやマストをしっかりと固定してください。

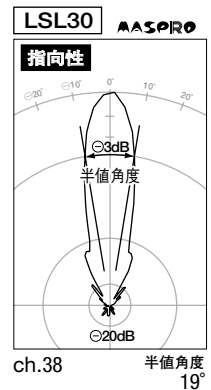
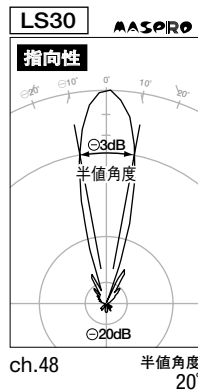
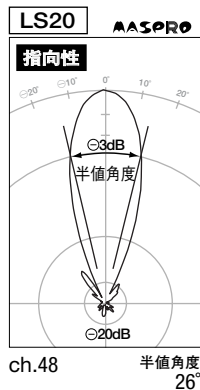
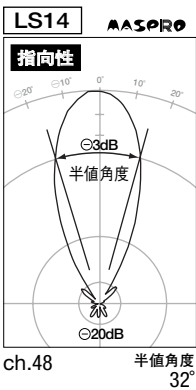
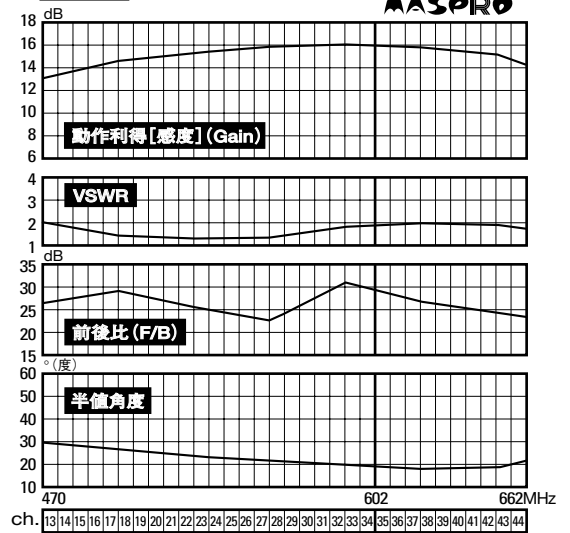
項目 Items	LS14	LS20	LS30	LSL30	
受信チャンネル Reception Channels	ch.13~62			ch.13~34	ch.35~44
エレメント数 Number of Elements	14	20	30		
インピーダンス Impedance	75Ω				
動作利得(感度) Gain	8.4~13.9dB	8.8~15.6dB	10.6~17.5dB	12.6~16.5dB	13.5~16.5dB
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2.5以下			2.4以下	
前後比 Front-to-Back Ratio	16~33dB	17~32dB	20~31dB	18~33dB	
半値角度 Half Power Beam Width	23~54°	18~48°	13~41°	15~33°	15~25°
適合マスト径 Adaptable Mast Diameter	22~48.6mm				
外観寸法 Dimensions	1170(L)×495(W)×560(H)mm	1870(L)×495(W)×560(H)mm	3050(L)×495(W)×560(H)mm	3050(L)×495(W)×560(H)mm	
質量(重量) Weight	約2.3kg	約2.7kg	約3.7kg	約3.7kg	

性能

LS14, LS20, LS30



LSL30



すべてのグラフは、マスプロ独自の全自動アンテナ測定装置が描いたものです。マスプロの性能表に絶対うそはありません。保証します。

付属品

防水キャップ ..... 1個

登録商標 第4954262号

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

地デジをすべての人に届けたい  
**マスプロ電気**  
 本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80  
 技術相談 **0570-091119**  
 ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用できます  
 IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは **052-805-3366**  
 受付時間 9~12時, 13~17時(土・日・祝日, 当社休業日を除く)  
 インターネットホームページ [www.maspro.co.jp](http://www.maspro.co.jp)  
 技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

- 首都圏電材(営) (03) 5469-5521
- 首都圏(シ) (03) 3499-5632
- 西日本(シ) (082) 230-2359
- 中日本(シ) (06) 6632-1144
- 北日本(シ) (022) 786-5062
- 福岡(支) (092) 551-1711
- 沖縄 (098) 854-2768
- 鹿児島 (099) 812-1200
- 宮崎 (0985) 25-3877
- 熊本 (096) 381-7626
- 長崎 (095) 864-6001

- 北九州 (093) 941-4026
- 下関 (083) 255-1130
- 広島(支) (082) 230-2351
- 松江 (0852) 21-5341
- 岡山 (086) 252-5800
- 松山 (089) 973-5656
- 高知 (088) 882-0991
- 高松 (087) 865-3666
- 大阪(支) (06) 6635-2222
- 姫路 (079) 234-6669
- 神戸 (078) 231-6111
- 京都 (075) 646-3800
- 東海(工) (052) 804-6262

- 名古屋(支) (052) 802-2233
- 津 (059) 234-0261
- 岐阜 (058) 275-0805
- 豊橋 (0532) 33-1500
- 静岡 (054) 283-2220
- 松本 (0263) 57-4625
- 福井 (0776) 23-8153
- 金沢 (076) 249-5301
- 関東(工) (03) 3499-5631
- 東京(支) (03) 3409-5505
- 新潟 (025) 287-3155
- 横浜 (045) 784-1422
- 八王子 (042) 637-1699
- 千葉 (043) 232-5335
- さいたま (048) 663-8000

- 前橋 (027) 263-3767
- 水戸 (029) 248-3870
- 宇都宮 (028) 636-1210
- 仙台(支) (022) 786-5060
- 郡山 (024) 952-0095
- 盛岡 (019) 641-1500
- 秋田 (018) 862-7523
- 青森 (017) 742-4227
- 札幌 (011) 782-0711
- 釧路 (0154) 23-8466
- 旭川 (0166) 25-3111
- (営): 営業グループ
- (シ): システム営業グループ
- (工): 工事グループ